青森市企業局水道部

資料１

青森市水道経営プラン・
青森市下水道事業経営戦略の
令和7年度実績・評価について

令和8年11月12日

第2回　青森市上下水道経営ビジョン検討会議　資料

青森市水道経営プラン･青森市下水道事業経営戦略の令和7年度実績･評価について

青森市水道経営プラン・青森市下水道事業経営戦略の
令和７年度実績・評価　総括表　・・・　２ページ

【水道事業】
①青森市水道経営プラン評価一覧表　・・・　３ページ
②青森市水道経営プランの進捗・評価について　・・・　４ページ

【下水道事業】
③青森市下水道事業経営戦略の進捗・評価について・・・１０ページ

【農業集落排水事業】
④青森市下水道事業経営戦略の進捗・評価について・・・１３ページ

青森市水道経営プラン・青森市下水道事業経営戦略の令和7年度実績・評価【総括表】

【青森市水道経営プラン】

a：順調に進捗している
b：概ね順調に進捗している
c：やや進捗が遅れている
d：進捗について課題がある
－：実施しなかった

A…施策実施率が90%以上
B…　〃　　が80%以上90%未満
C…　〃　　が70%以上80%未満
D…　〃　　が70%未満

1．基本政策評価

≪総合評価≫	主な取組数	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	―	評価点	――――	満点	実施率	評価
1　安定した給水の確保	16	14	1	1			61		64	95.3%	A
2　良質でおいしい水の供給	18	12	1	1		4	53		56	94.6%	A
3　災害に強い水道の構築	17	13		2		2	56		60	93.3%	A
4　経営基盤の強化	32	24	6			2	114		120	95.0%	A
5　環境への配慮	3	3					12		12	100.0%	A
合計	**86**	**66**	**8**	**4**	**0**	**8**	**296**		**312**	**94.9%**	**A**

※達成度評価の説明
A：順調　　実績値がその年度の目標値を100%以上達成
B：概ね順調　　実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成
C：やや遅れている　　実績値がその年度の目標値の50%～75%未満
D：遅れている　　実績値がその年度の目標値の50%未満

2．指標評価

基本政策	目標指標	R7目標値	R7実績値	達成度評価	最終年度（R10）目標値	備考
1　安定した給水の確保	①有収率	90.00	79.68	B	90.0	12か月で算出すると86.76%、評価B。
	②有効率	94.0	89.5	B	94.0	
2　良質でおいしい水の供給	③管路更新率	1.00	1.05	A	1.00	
	④総トリハロメタン濃度水質基準比率	12.6	21.5	D	12.0	
	⑤消毒副生成物濃度水質基準比率	18.6	22.5	D	18.0	
3　災害に強い水道の構築	⑥浄水施設の耐震化率（現有施設能力）	38.0	35.0	B	41.1	
	⑦全管路の耐震適合率	76.6	78.9	A	77.4	
4　経営基盤の強化	⑧外部研修時間	5.0	2.6	C	5.0	
	⑨内部研修時間	4.5	1.6	D	4.5	
	⑩広域連携項目数	3	3	A	6	
	⑪インターネットによる情報の提供度	47	99	A	50	
	⑫経常収支比率	100.0	98.1	B	100.0	12か月で算出すると105.8%、評価A。
	⑬企業債残高対給水収益比率	281.0	300.1	D	281.0	12か月で算出すると275.8%、評価A。
	⑭水道料金未収金（不納欠損）割合	0.29	0.07	A	0.29	
	⑮配水池清掃実施率	23.5	25.6	A	12.0	
5　環境への配慮	⑯浄水発生土の有効利用率	100.0	100.0	A	100.0	

【青森市下水道経営戦略】

※達成度評価の説明
A：順調　　実績値がその年度の目標値を100%以上達成
B：概ね順調　　実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成
C：やや遅れている　　実績値がその年度の目標値の50%～75%未満
D：遅れている　　実績値がその年度の目標値の50%未満

1．指標評価

≪下水道事業≫

基本政策	目標指標	R7目標値	R7実績値	達成度評価	最終年度（R24）目標値	備考
1　将来を見据えた下水道事業経営の健全化	①経常収支比率	117.6	108.8	B	100以上	12か月で算出すると113.26%、評価B。
	②経費回収率	102.11	97.93	B	100	
	③企業債残高対事業規模比率	929.18	1018.89	B	671.42	12か月で算出すると936.15%、評価B。
	④資金不足比率	30.74	50.84	D	0	12か月で算出すると47.52%、評価D。
2　下水道整備の最適化・平準化	⑤下水道普及率	82.22	82.00	B	85.86	
3　下水道施設の持続可能な維持管理	⑥管渠改善率	0.34	0.20	C	10.45	
	⑦設備改善率（ポンプ場）	12.19	9.91	B	57.58	
	⑧設備改善率（処理場）	8.43	4.87	C	53.27	

≪農業集落排水事業≫

基本政策	目標指標	R7目標値	R7実績値	達成度評価		備考
1　将来を見据えた下水道事業経営の健全化	①経常収支比率	124.05	108.75	B	100以上	
	②経費回収率	68.05	49.26	C	100	12か月で算出すると53.69%、評価B。
	③企業債残高対事業規模比率	942.20	1087.82	B	143.6	12か月で算出すると998.02%、評価B。
	④資金不足比率	0.00	36.81	C	0	12か月で算出すると33.77%、評価C。
2　下水道整備の最適化・平準化						
3　下水道施設の持続可能な維持管理	⑤設備改善率（マンホールポンプ）	4.26	3.19	C	74.5	

※下線は総務省の経営比較分析表対象項目。

①青森市水道経営プラン　評価一覧表

基本政策	政策	施策	主な取組	番号	評価	方向性
1 安定した給水の確保	水源の確保	既存水源の保全の推進	水源保護区域内の開発行為等への指導を徹底	1	a	継続
			地下水の取水量についての適正な管理	2	a	継続
		新規水源の調査及び開発	安定的に取水できる施設の整備	3	a	完了
			「天田内取水井更新事業」として計画的に更新	4	a	継続
			各簡易水道事業の予備水源の必要性について検討	5	a	継続
		水源涵養林の保全	水源涵養林の管理・保全	6	a	継続
			各浄水場水源保護区域内に在る水源涵養林の監視体制強化	7	a	継続
	施設の整備及び管理	施設の整備	横内浄水場の北系ろ過池の更新	8	c	改善
			原別配水所の長寿命化を図りつつ、施設機能のあり方について検討	9	a	継続
		維持管理体制の強化	機械警備を継続、防護柵等の健全化	10	a	継続
			多岐にわたる施設の適正な点検整備	11	a	継続
	水資源の有効利用	漏水防止対策の強化	漏水防止対策事業を継続して推進	12	b	継続
			配水管整備事業を推進	13	a	継続
			塩化ビニル製の配水管及び給水管の集中的解消	14	a	継続
			衛星画像やＡＩ診断による漏水リスクの評価手法を導入	15	a	拡充
		配水運用の効率化	各配水区域の見直し	16	a	継続
2 良質でおいしい水の供給	水質の保全	水源の汚染防止の徹底	水源保護区域内の開発行為等への指導を徹底	17	a	継続
		浄水システムの高度化と改善	紫外線処理施設を導入	18	—	—
			横内ろ過池の更生工事、ろ過池躯体状況報告書の内容により更新工事を計画的に実施	19	b	継続
			UV計を設置	20	—	—
			塩素濃度低下を未然に防止する手段を模索	21	a	継続
			原別配水所の水質変動について継続的に注視	22	a	継続
			北系ろ過施設を膜ろ過施設として更新	23	c	改善
		赤水防止対策等の強化	毎日水質検査の結果から水質変化を把握、異常時の改善	24	a	継続
			配水管整備事業で老朽管の更新を実施	25	a	継続
	水質監視体制の強化	精度の高い水質検査体制の確立と監視体制の強化	水道ＧＬＰの運用	26	a	継続
			水安全計画を推進、毎年度の見直し	27	a	継続
			水質検査室を更新	28	—	—
			市内各所のテレメータを計画的に更新	29	—	—
	給水サービスの向上	配水管網の充実	行き止まり管、輻輳している給水管の解消	30	a	継続
			需要にあった口径で、配水管を更新	31	a	継続
		直結給水の促進と貯水槽水道管理の徹底	３階直結給水の促進	32	a	継続
			貯水槽水道設置者へ維持管理の必要性についてＰＲ活動を継続	33	a	継続
		鉛製給水管の解消	定期的な郵便等での個別周知による早期解消を推進	34	a	継続
3 災害に強い水道の構築	施設の耐震性の強化	水道管の耐震化	「基幹配水管耐震化事業」として、基幹となる配水管路に耐震管を布設	35	a	継続
			「配水管整備事業」として、耐震管または耐震適合管を布設	36	a	継続
		主要な構造物の耐震化	横内浄水場北系沈殿池を耐震施設として更新	37	—	—
			横内浄水場水質試験室を耐震施設として更新	38	—	—
			横内浄水場の北系ろ過池を膜ろ過施設として更新	39	c	改善
			主要な配水池について耐震化や更新の検討	40	a	継続
	災害復旧体制の充実	バックアップ体制の整備	断水事故や水質事故等を想定した訓練を継続的に実施検証結果に基づいた各種マニュアルの見直し	41	a	継続
			配水区域間のバックアップ体制を構築	42	a	継続
		災害対策用資材の備蓄	災害対策用資機材の効果的な管理方法及び管理体制を構築	43	a	継続
			必要な応急給水用資機材の備蓄	44	a	継続
			資機材庫の更新（耐震化）を検討	45	c	継続
		災害訓練等の実施	内部での訓練・研修等を実施	46	a	継続
			運転操作マニュアルを整備、施設の位置や機能を現地確認	47	a	継続
	飲料水の確保	非常用飲料水の備蓄	災害用ペットボトル水を継続して備蓄し、適正に管理	48	a	縮小
			水道部管理の耐震性貯水槽について適正な管理	49	a	継続
		災害時における重要施設等の給水機能の確保	水道施設から指定避難所等までの管路の耐震化	50	a	継続
			地震等の災害時に応急給水の拠点となる場所を市民へ周知	51	a	継続

基本政策	政策	施策	主な取組	番号	評価	方向性
4 経営基盤の強化	職員の資質向上と人材育成	人材の確保・育成と定員管理の推進	内部研修の充実、外部研修や訓練等への積極的な参加	52	b	継続
			人材育成による業務能率の向上、公的資格取得への支援	53	a	継続
		効率的な組織の整備	組織の集約化や効率化を推進、業務の民間委託化等を検討	54	a	継続
			水道部内組織（課やチーム）の統合や再編成等を検討	55	a	継続
	広域連携・民間との連携の推進	広域連携の推進	災害対策関連・給水装置関連・水質管理関連の３分野について実施環境が整ったものから連携	56	a	継続
			青森県水道広域化推進プランに基づいた３分野以外の連携可能な分野の順次拡大を検討	57	a	継続
		民間資金・ノウハウの活用の推進	委託業務の集約化・包括化などを推進	58	a	継続
			事業主体やトータルコスト等から最適な方法の導入を検討	59	b	継続
			事務事業の更なる効率化、運用方法の見直し	60	a	完了
	資産及び新技術等の活用	資産の有効活用	油川配水所の跡地の活用方策の十分な検討・方向性決定	61	—	継続
			原別取水井の廃止に向けた手続き、関連施設の活用方法の十分な検討・方向性決定	62	a	継続
		情報通信技術・新技術の活用	水道情報管理システム（マッピングシステム）の充実	63	a	継続
			スマートメーターなどの新たな技術について調査導入可能性の検討	64	a	継続
			施設の維持管理の向上や経済性の高い新技術の調査・検討	65	a	継続
			ＩＣＴ等新技術の導入による配水運用の自動化を検討	66	a	継続
			配水池の内部調査や清掃についての調査等を実施・検討	67	b	継続
			衛星画像やＡＩ診断による漏水リスクの評価手法を導入	68	a	継続
			内部事務についてICT等の活用を検討	69	a	継続
	資金管理・資金調達	企業債の発行・資金運用	企業債の計画的な発行	70	b	継続
			安全かつ有利な資金運用	71	a	継続
		水道料金収入の確保と水道料金体系のあり方の調査・検討	収納環境の利便性の向上の検討、水道料金徴収事務を着実に実施	72	b	継続
			水需要減少の影響を受けにくい料金体系のあり方等について調査	73	a	継続
	顧客ニーズの把握と情報公開	お客さまが関われる環境づくりの構築	広報の充実や緊急時にお知らせできる環境を整備	74	a	継続
			アンケート等により利用者の意見を把握、水道について相談できる機会づくりを検討	75	a	継続
			安全でおいしい水の効果的なＰＲの拡大、お客さまと事業者双方向の広聴の充実	76	a	継続
	入札手続きの適正化	入札手続きの見直しの検討	市長部局の動向を注視しながら入札手続きの見直しを検討	77	a	継続
	性能の適正化	施設の適正化	施設の統廃合及びダウンサイジングを推進	78	a	継続
			継続して各浄水施設の配水能力を検討	79	a	継続
			簡易水道事業において、事業の効率性及びお客さまの利便性の双方を満足させる新たな飲料水の供給方法を検討	80	b	拡充
		管路の適正化	水需要に見合ったダウンサイジングを推進	81	a	継続
	長寿命化	長寿命化計画の推進	「施設・設備台帳」の精度を向上	82	—	—
			アセットマネジメントの結果を反映させた施設（設備）及び管路更新計画を策定	83	a	継続
5 環境への配慮	環境にやさしい取り組み	環境保全活動の充実	施設及び設備等の更新時、省エネルギー設備の導入を検討	84	a	継続
			事業活動の効率的運用、対前年比1%のエネルギー削減を計画	85	a	継続
		資源リサイクルの推進	浄水処理過程での発生土の有効活用を継続	86	a	継続

≪総合評価≫	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	—	評価点	満点	実施率	評価
1 安定した給水の確保	14	1	1			61	64	95.3%	A
2 良質でおいしい水の供給	12	1	1		4	53	56	94.6%	A
3 災害に強い水道の構築	13		2		2	56	60	93.3%	A
4 経営基盤の強化	24	6			2	114	120	95.0%	A
5 環境への配慮	3					12	12	100.0%	A
合計	66	8	4	0	8	296	312	94.9%	A

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

≪指標≫

※達成度評価の説明
A：順調　実績値がその年度の目標値を100%以上達成
B：概ね順調　実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成
C：やや遅れている　実績値がその年度の目標値の50%～75%未満
D：遅れている　実績値がその年度の目標値の50%未満

基本政策	1　安定した給水の確保

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
①有収率	配水量に対する有収水量の割合	+	R5	87.4	%	目標値	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
						実績値	87.00	79.68			
指標の算出式	年間有収水量 / 年間配水量 ×100						24,215,009m3 / 30,389,612m3 ×100				
達成度評価 B	有収率は79.7%となり、目標値を下回りました。						【隔月影響有】12か月で算出すると86.76%、評価Ｂ。				

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
②有効率	配水量に対する有効水量の割合	+	R5	89.8	%	目標値	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0
						実績値	89.5	89.5			
指標の算出式	年間有効水量 / 年間配水量 ×100						27,192,020m3 / 30,389,612m3 ×100				
達成度評価 B	有効率は89.5%となり、目標値を下回りました。										

≪施策別評価≫

政策	施策	ページ	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	—	評価点	満点	実施率（R7）	評価（R7）	実施率（R6）	評価（R6）	
水源の確保	既存水源の保全の推進	1 - 2	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	新規水源の調査及び開発	3 - 5	3					12	12	100.0%	A	100.0%	A	
	水源涵養林の保全	6 - 7	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
施設の整備及び管理	施設の整備	8 - 9	1		1			6	8	75.0%	C	75.0%	C	※1
	維持管理体制の強化	10 - 11	2					8	8	100.0%	A	87.5%	B	※2
水資源の有効利用	漏水防止対策の強化	12 - 15	3	1				15	16	93.8%	A	93.8%	A	
	配水運用の効率化	16	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A	
											A6 C1		A5 B1 C1	

≪施策別評価の説明≫

政策	施策	評価（R7）	評価（R6）	理由
施設の整備及び管理	施設の整備 ※1	C	C	R6は上下水道耐震化計画の策定を優先し、北系ろ過池の更新工事を延期したためC評価とし、R7は適用できる補助・交付金の有無を調査した結果、現時点では無いことから工事を見送り、現状維持となったためC評価となった。
	維持管理体制の強化 ※2	A	B	R6は機械警備のセット忘れが増加したためB評価となったが、R7はセット忘れが改善されたうえ、経年劣化したフェンスを直営で改修を行ったためA評価となった。

≪評価基準≫

a：順調に進捗している
b：概ね順調に進捗している
c：やや進捗が遅れている
d：進捗について課題がある
－：実施しなかった

A…施策実施率が90%以上
B…　〃　が80%以上90%未満
C…　〃　が70%以上80%未満
D…　〃　が70%未満

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

≪指標≫

基本政策	2　良質でおいしい水の供給

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
③管路更新率	当該年度に更新した管路延長の割合	＋	R5	1.14	%	目標値	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
						実績値	1.05	1.05			

指標の算出式	過去5か年更新延長 ／ 過去5か年更新延長（前年度末） ×100　　154,430km ／ 14,684,953km ×100
達成度評価 A	管路更新率は1.05%となり、目標値を上回りました。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
④総トリハロメタン濃度水質基準比率	総トリハロメタン濃度水質基準比率の割合	－	R5	28.8	%	目標値	12.8	12.6	12.4	12.2	12.0
						実績値	21.5	21.5			

指標の算出式	Σ給水栓の総トリハロメタン濃度／給水栓数 ／ 水質基準値 ×100　　0.086mg/L／4箇所 ／ 0.1mg/L ×100
達成度評価 D	総トリハロメタン濃度水質基準比率は21.5%となり、目標値を下回りました。

※トリハロメタン･･･有機物を多く含む水に対して次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行ったときに生ずる有害物質の総称。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑤消毒副生成物濃度水質基準比率	消毒副生成物濃度水質基準比率の割合	－	R5	28.3	%	目標値	18.8	18.6	18.4	18.2	18.0
						実績値	31.7	22.5			

指標の算出式	Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度／給水栓数 ／ 水質基準値 ×100　　0.027mg/L／4箇所 ／ 0.03mg/L ×100
達成度評価 D	消毒副生成物濃度水質基準比率は22.5%となり、目標値を下回りました。

※消毒副生成物：天然有機物や排水由来の有機物を含む原水に対して次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行った時に生ずるもの。

≪施策別評価≫

政策	施策	ページ	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	―	評価点	満点	実施率（R7）	評価（R7）	実施率（R6）	評価（R6）	
水質の保全	水源の汚染防止の徹底	17	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A	
	浄水システムの高度化と改善	18 － 23	2	1	1		2	13	16	81.3%	B	87.5%	B	※3
	赤水防止対策等の強化	24 － 25	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
水質監視体制の強化	精度の高い水質検査体制の確立と監視体制の強化	26 － 29	2				2	8	8	100.0%	A	100.0%	A	
給水サービスの向上	配水管網の充実	30 － 31	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	直結給水の促進と貯水槽水道管理の徹底	32 － 33	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	鉛製給水管の解消	34	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A	
											A6 B1		A6 B1	

≪施策別評価の説明≫

政策	施策	評価（R6）	評価（R6）	理由
水質の保全	浄水システムの高度化と改善 ※3	B	B	R6は上下水道耐震化計画の策定を優先し、北系ろ過池の更新工事を延期したためC評価とし、R7は適用できる補助・交付金の有無を調査した結果、現時点では無いことから工事を見送り、現状維持となったためC評価となった。

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

≪指標≫

基本政策	3　災害に強い水道の構築

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑥浄水施設の耐震化率（現有施設能力）	浄水施設の耐震化の割合	+	R5	32.2	%	目標値	36.9	38.0	39.0	40.1	41.1
						実績値	35.0	35.0			

指標の算出式	$\frac{\text{耐震対策が施されている浄水施設現有施設能力}}{\text{全現有施設能力}} \times 100$	$\frac{43,778\text{m3/日}}{124,923\text{m3/日}} \times 100$
達成度評価	浄水施設の耐震化率は35.0%となり、目標値を下回りました。	
B		

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑦全管路の耐震適合率	大規模地震に耐えられる管路の割合	+	R5	77.2	%	目標値	76.3	76.6	76.8	77.1	77.4
						実績値	78.0	78.9			

指標の算出式	$\frac{\text{耐震適合管延長}}{\text{管路総延長}} \times 100$	$\frac{1,160,878.5\text{m}}{1,470,494.5\text{m}} \times 100$
達成度評価	全管路の耐震適合率は78.9%となり、目標値を上回りました。	
A		

≪施策別評価≫

政策	施策	ページ	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	—	評価点	満点	実施率（R7）	評価（R7）	実施率（R6）	評価（R6）	
施設の耐震性の強化	水道管の耐震化	35 － 36	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	主要な構造物の耐震化	37 － 40	1		1		2	6	8	75.0%	C	75.0%	C	※4
災害復旧体制の充実	バックアップ体制の整備	41 － 42	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	災害対策用資材の備蓄	43 － 45	2		1			10	12	83.3%	B	83.3%	B	※5
	災害訓練等の実施	46 － 47	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
飲料水の確保	非常用飲料水の備蓄	48 － 49	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	災害時における重要施設等の給水機能の確保	50 － 51	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
											A5 B1 C1		A5 B1 C1	

≪施策別評価の説明≫

政策	施策	評価（R7）	評価（R6）	理由
施設の耐震性の強化	主要な構造物の耐震化 ※4	C	C	R6は上下水道耐震化計画の策定を優先し、北系ろ過池の更新工事を延期したためC評価とし、R7は適用できる補助・交付金の有無を調査した結果、現時点では無いことから工事を見送り、現状維持となったためC評価となった。
災害復旧体制の充実	災害対策用資材の備蓄 ※5	B	B	計画どおり、災害対策用資機材及び応急給水用資機材の補充・更新を行い資機材の確保に取り組んだが、老朽化した資機材庫の更新に係る検討について、資機材庫に併設を予定するお客様センターとしての営業業務の包括委託内容・スケジュールが未定であるため、具体案の策定に至らずB評価となった。

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

≪指標≫

基本政策	4　経営基盤の強化

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑧外部研修時間	職員が外部研修を受けた一人当たりの時間	+	R5	4.2	時間／人	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
						実績値	2.4	2.6			

指標の算出式	職員が外部研修を受けた時間×受講人数 ／ 全職員数	延べ　391時間 ／ 148人
達成度評価 C	一人当たりの外部研修時間は3時間となり、目標値を下回りました。	

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑨内部研修時間	職員が内部研修を受けた一人当たりの時間	+	R5	2.1	時間／人	目標値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
						実績値	0.9	1.6			

指標の算出式	職員が内部研修を受けた時間×受講人数 ／ 全職員数	延べ　240時間 ／ 148人
達成度評価 D	一人当たりの外部研修時間は1.6時間となり、目標値を下回りました。	

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑩広域連携項目数	東青地区4町村との広域連携項目数	+	R5	3	項目	目標値	3	3	4	5	6
						実績値	3	3			

指標の算出式	連携項目数
達成度評価 A	広域連携項目数は3項目で目標値と同じです。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑪インターネットによる情報の提供度	ウェブページへの掲載回数	+	R5	127	回	目標値	46	47	48	49	50
						実績値	104	99			

指標の算出式	ウェブページへの掲載回数
達成度評価 A	インターネットによる情報提供は99回となり、目標値を上回りました。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑫経常収支比率	経常費用を経常収支で賄えている割合	+	R5	109.6	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
						実績値	106.1	98.1			

指標の算出式	総収益-特別利益 ／ 総費用-特別損失 ×100	5,299,419千円-6,572千円 ／ 5,407,774千円-14,307千円 ×100
達成度評価 B	経常収支比率は98.1%となり、目標値を下回りました。	【隔月影響有】12か月で算出すると105.8%、評価Ａ。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑬企業債残高対給水収益比率	料金収入に対する企業債残高の割合	-	R5	277.0	%	目標値	281.0	281.0	281.0	281.0	281.0
						実績値	275.7	300.1			

指標の算出式	企業債残高 ／ 給水収益 ×100	14,027,731千円 ／ 4,673,601千円 ×100
達成度評価 D	企業債残高対給水収益比率は300.1%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】12か月で算出すると275.8%、評価Ａ。

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑭水道料金未収金（不納欠損）割合	未収金（不納欠損）の割合	－	R5	0.15	%	目標値	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
						実績値	0.10	0.07			

指標の算出式	水道料金未収金（不能欠損）額 / 当該年度調定額 ×100　　3,778,585円 / 5,432,198,645円 ×100
達成度評価	
A	水道料金未収金（不能欠損）割合は0.07%で目標値を上回りました。

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑮配水池清掃実施率	配水池清掃を実施した割合	＋	R5	36.9	%	目標値	23.5	23.5	23.5	12.0	12.0
						実績値	25.5	25.6			

指標の算出式	5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量 ×100　　22,429m3 / 87,660.3m3 ×100
達成度評価	
A	配水池清掃実施率は25.6%で目標値を上回りました。

≪施策別評価≫

政策	施策	ページ	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	―	評価点	満点	実施率（R7）	評価（R7）	実施率（R6）	評価（R6）	
職員の資質向上と人材育成	人材の確保・育成と定員管理の推進	52 － 53	1	1				7	8	87.5%	B	87.5%	B	※6
	効率的な組織の整備	54 － 55	2					8	8	100.0%	A	87.5%	B	※7
広域連携・民間との連携の推進	広域連携の推進	56 － 57	2					8	8	100.0%	A	100.0%	A	
	民間資金・ノウハウの活用の推進	58 － 60	2	1				11	12	91.7%	A	100.0%	A	
資産及び新技術等の活用	資産の有効活用	61 － 62	1				1	4	4	100.0%	A	100.0%	A	
	情報通信技術・新技術の活用	63 － 69	6	1				27	28	96.4%	A	100.0%	A	
資金管理・資金調達	企業債の発行・資金運用	70 － 71	1	1				7	8	87.5%	B	100.0%	A	※8
	水道料金収入の確保と水道料金体系のあり方の調査・検討	72 － 73	1	1				7	8	87.5%	B	100.0%	A	※9
顧客ニーズの把握と情報公開	お客さまが関われる環境づくりの構築	74 － 76	3					12	12	100.0%	A	100.0%	A	
入札手続きの適正化	入札手続きの見直しの検討	77	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A	
性能の適正化	施設の適正化	78 － 80	2	1				11	12	91.7%	A	100.0%	A	
	管路の適正化	81	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A	
長寿命化	長寿命化計画の推進	82 － 83	1				1	4	4	100.0%	A	100.0%	A	
											A10 B3		A11 B2	

≪施策別評価の説明≫

政策	施策	評価（R7）	評価（R6）	理由
職員の資質向上と人材育成	人材の確保・育成と定員管理の推進 ※6	B	B	R7,R6ともに研修時間が目標値を下回ったため、B評価となった。
	効率的な組織の整備 ※7	A	B	R7に部内の組織見直しを行い、組織の集約化、効率化の推進が図られたため、A評価となった。
資金管理・資金調達	企業債の発行・資金運用 ※8	B	A	R7は企業債残高対給水収益比率が目標値を下回ったためB評価となったが、隔月検針開始の影響により給水収益が1か月分減となったことによる。（12か月分で算出すると目標値を上回っている。）
	水道料金収入の確保と水道料金体系のあり方の調査・検討 ※9	B	A	R7の収納率は98.77%となり、目標収納率の98.78%をわずかに下回ったため、B評価となった。

青森市水道経営プランの進捗評価について（水道事業）

≪指標≫

基本政策	5　環境への配慮

経営プランの目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑯浄水発生土の有効利用率	浄水発生土の有効利用率の割合	+	R5	100.0	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
						実績値	100.0	100.0			

指標の算出式	$\frac{\text{有効利用土量}}{\text{浄水発生土量}} \times 100$　　$\frac{703.53\ \text{t-Ds}}{703.53\ \text{t-Ds}} \times 100$　　※t-Ds…液体に溶けている物質量の単位
達成度評価	浄水発生土の有効利用率は100%となり、目標値と同じです。
A	

≪施策別評価≫

政策	施策	ページ	a（4点）	b（3点）	c（2点）	d（1点）	―	評価点	満点	実施率（R7）	評価（R7）	実施率（R6）	評価（R6）
環境にやさしい取り組み	環境保全活動の充実	84 － 85	2					8	8	100.0%	A	75.0%	C ※１０
	資源リサイクルの推進	86	1					4	4	100.0%	A	100.0%	A
											A2		A1 C1

≪施策別評価の説明≫

政策	施策	評価（R7）	評価（R6）	理由
環境にやさしい取り組み	環境保全活動の充実 ※１０	A	C	R6は原油換算エネルギー消費量が、対前年度比で2.4%増加したため、C評価となったが、R7は対前年度比で1.1%減少し、目標としている対前年度比1%の減少を実施できたため、A評価となった。

青森市下水道事業経営戦略の進捗・評価について（公共下水道事業）

≪指標≫

※達成度評価の説明
A：順調　実績値がその年度の目標値を100%以上達成
B：概ね順調　実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成
C：やや遅れている　実績値がその年度の目標値の50%～75%未満
D：遅れている　実績値がその年度の目標値の50%未満

基本方針	1　将来を見据えた下水道事業経営の健全化

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
①経常収支比率	経常費用を経常収益で賄えている割合	＋	R5 115.18 %	目標値	116.67	117.60	118.50	115.07	119.33
				実績値	115.94	108.80			

指標の算出式	経常収益 / 経常費用 ×100	7,702,199千円 / 7,079,261千円 ×100
達成度評価	経常収支比率は108.80%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると113.26%、評価Ｂ。
B		

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
②経費回収率	経常費用を使用料で賄えている割合	＋	R5 97.15 %	目標値	101.23	102.11	102.83	103.61	103.93
				実績値	98.13	97.93			

指標の算出式	下水道使用料 / 汚水処理費 ×100	3,567,233千円 / 3,642,512千円 ×100
達成度評価	経費回収率は97.93%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると98.10%、評価Ｂ。
B		

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
③企業債残高対事業規模比率	使用料収入に対する企業債残高の割合	－	R5 1041.95 %	目標値	992.32	929.18	866.58	808.62	751.78
				実績値	990.33	1018.89			

指標の算出式	企業債現在高合計 － 一般会計負担額 / 営業収益 － 受託工事収益 － 雨水処理負担金 ×100	52,206,075千円 － 15,772,880千円 / 4,559,759千円 － 30,605千円 － 958,398千円 ×100
達成度評価	企業債残高対事業規模比率は1,018.89%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると936.15%、評価Ｂ。
B		

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
④資金不足比率	事業規模に対する資金不足額の割合	－	R5 27.4 %	目標値	18.88	30.74	31.74	33.72	31.50
				実績値	22.65	50.84			

指標の算出式	資金不足額 / 事業規模（営業収益 － 受託工事収益） ×100	2,302,488千円 / 4,559,759千円 － 30,605千円 ×100
達成度評価	資金不足比率は50.84%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると47.52%、評価Ｄ。
D		

青森市下水道事業経営戦略の進捗・評価について（公共下水道事業）

≪指標≫

基本方針	2　下水道整備の最適化・平準化

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑤下水道普及率	行政人口のうち、下水道を利用できる地域の人口の割合	＋	R5	81.77	%	目標値	82.01	82.22	82.44	82.65	82.86
						実績値	82.00	82.00			

指標の算出式	$\frac{\text{処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$　　$\frac{210,796\text{人}}{257,058\text{人}} \times 100$

達成度評価	
B	下水道普及率は82.00%となり、目標値を下回りました。

≪指標≫

基本方針	3　下水道施設の持続可能な維持管理

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑥管渠改善率	下水管布設延長のうち、改善管渠延長の割合	＋	R5	0.10	%	目標値	0.23	0.34	0.44	0.75	1.05
						実績値	0.13	0.20			

指標の算出式	改善（更新・改良・修繕）管渠延長の累計 ／ 下水管布設延長 ×100　　2.29km　※うちR7は0.82km ／ 1,136km ×100
達成度評価 C	管渠改善率は0.20%となり、目標値を下回りました。

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑦設備改善率（ポンプ場）	総基数のうち、改善基数の割合	＋	R5	6.77	%	目標値	9.65	12.19	14.73	17.27	19.81
						実績値	7.2	9.91			

指標の算出式	改善基数の累計 ／ 総基数 ×100　　117基　※うちR7は32基 ／ 1,181基 ×100
達成度評価 B	設備改善率（ポンプ場）は9.91%となり、目標値を下回りました。

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑧設備改善率（処理場）	総基数のうち、改善基数の割合	＋	R5	2.25	%	目標値	5.86	8.43	11.00	13.56	16.13
						実績値	4.06	4.87			

指標の算出式	改善基数の累計 ／ 総基数 ×100　　108基　※うちR7は18基 ／ 2,219基 ×100
達成度評価 C	設備改善率（処理場）は4.87%となり、目標値を下回りました。

青森市下水道事業経営戦略の進捗・評価について（農業集落排水事業）

≪指標≫

※達成度評価の説明
A：順調　実績値がその年度の目標値を100%以上達成
B：概ね順調　実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上100%未満）達成
C：やや遅れている　実績値がその年度の目標値の50%～75%未満
D：遅れている　実績値がその年度の目標値の50%未満

主要施策	1　将来を見据えた下水道事業経営の健全化

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
①経常収支比率	経常費用を経常収益で賄えている割合	＋	R5 119.38 %	目標値	122.02	124.05	125.77	126.81	127.45
				実績値	118.49	108.75			

指標の算出式	経常収益 / 経常費用 ×100	357,849千円 / 329,045千円 ×100
達成度評価 B	経常収支比率は108.75%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると110.61%、評価Ｂ。

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
②経費回収率	経常費用を使用料で賄えている割合	＋	R5 77.43 %	目標値	69.15	68.05	68.51	68.66	68.79
				実績値	70.59	49.26			

指標の算出式	下水道使用料 / 汚水処理費 ×100	67,801千円 / 137,640千円 ×100
達成度評価 C	経費回収率は49.26%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると53.69%、評価Ｂ。

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
③企業債残高対事業規模比率	使用料収入に対する企業債残高の割合	―	R5 1,072.65 %	目標値	1,008.85	942.20	874.11	805.26	733.53
				実績値	1,041.52	1,087.82			

指標の算出式	企業債現在高合計 － 一般会計負担額 / 営業収益 － 受託工事収益 － 雨水処理負担金 ×100	1,726,715千円 － 988,811千円 / 67,833千円 － 0千円 － 0千円 ×100
達成度評価 B	企業債残高対事業規模比率は1,087.82%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると998.02%、評価Ｂ。

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値		R6	R7	R8	R9	R10
④資金不足比率	事業規模に対する資金不足額の割合	―	R5 0 %	目標値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績値	0	36.81			

指標の算出式	資金不足額 / 事業規模（営業収益 － 受託工事収益） ×100	24,967千円 / 67,833千円 － 0千円 ×100
達成度評価 C	資金不足比率は36.81%で目標値を下回りました。	【隔月影響有】 12か月で算出すると33.77%、評価Ｃ。

≪指標≫

基本方針	3　下水道施設の持続可能な維持管理

経営戦略の目標指標	指標の説明	方向	現在値				R6	R7	R8	R9	R10
⑤設備改善率（マンホールポンプ）	総基数のうち、改善基数の割合	＋	R5	0	%	目標値	0	4.26	8.51	12.77	17.02
						実績値	0	3.19			

指標の算出式	$\frac{\text{改善基数の累計}}{\text{総基数}} \times 100$　　$\frac{\text{3基}}{\text{94基}} \times 100$
達成度評価	設備改善率（ポンプ場）は3.19%となり、目標値を下回りました。
C	